

抽象画に感謝

古林秀子

新日美に、入会させて頂いて、早十一年になります。最初の四年間は、水彩画でお花を描いていました。いつも試行錯誤で、困っていました。そんな時に革工芸に出会い、バッグやお財布を、制作するようになりました。習った範囲の柄や、彩色に物足りなさを感じ、好きなようにデザインして、バッグをつくってみました。そのバッグを眺めるうちに、これを広げて額に入れたら、絵になるなと思いました。

新日美の先輩からも、抽象画を描いてみてはどうかと言うアドバイスもあり、まず、二〇号サイズで描いてみたら好評でした。革という特性を生かして、どのように絵にしたら良いかと、色々やってみましたが、最終的には、革に刻印を打ち、アクリル絵の具で描く事にしました。その方法が、一番私らしい絵が描けると思いました。

革には下絵に沿ってカットを入れて、刻印をいっぺい打ち込みました。その方法をするようになってから、一枚の絵を二人で描いているような、不思議な気持ちがあるようになりました。下絵を打ち込む私と、上に彩色する私です。一〇〇%下絵と全く違う絵になりました。下絵を打ち込む時にあったイメージを、彩色する時にもう一度、イメージし直すからです。彩色する私は、下絵を描いた自分を、アツと言わせない、こんな素敵になつたんだよと、思わせたいと努力します。そして、下絵の私が見えたら、良いよと言ってくれような、絵になつていった時が、一番うれしい時です。一人の私の二人の共同作業、力が二倍になる気持ちがあります。ですから、絵を描くときは、内側から出てくる、もう一人の自分に会える日でもあります。

最近、絵を見て下さる方に、嬉しい、楽しい、幸せ、大好き、愛してる、ありがとう、感謝します、の気持ちが伝わるように、自筆の文字の刻印を制作してもらい、沢山

打ち込んで、それも絵にいれています。絵の波動、文字の波動を受けて、見て下さる方が明るくなって下さることを、目指してこれからも精進致します。

美とは？

あるTV番組から抜粋したものです。記事不足の時シリーズで掲載します。小高峯夫

美の存在しない世界を思い浮かべてみてください。色も形もないどろどろした粘土だけの世界、模様もなければ鳥の歌声も聞こえない世界、例えば醜い惑星という名の星を訪れたとする。そこには土と灰色のキノコしかありません、でもそこに人々が何世代にわたり住むようになると、土のひび割れやキノコのヒダに美を感じるようになる。

人間が美を感じるのには、混沌の中に秩序を見出すような脳が働くからです。人間は無意味な形から何かをイメージしようとする。何をイメージしたかでその人が何を考えているかが分かります。同じものを見て感じ方は個人によって差があります。美とは 真実？ インスピレーション？ ベルリンの壁の崩壊？ 見る人によって違います。

美に共通性はないのでしょうか？ 誰もが認める美というものも確かに存在します。だからこそそこに科学が登場する余地がある。形やパターンや音、その構造に秘密があります。



顔、強いイメージ知覚とミニケーションの道具、これほど人々をひきつける“形”はありません。誰かの顔や目や唇の形を言葉で説明してみても下さい。難し

いはずです。でも人々は知っている顔を、即座に識別できます。私たちはひと目で人の顔を見分けます。二年後にあつても名前ほともかく顔は忘れません。また、人間の脳はある特定の顔を美しいと感じるようになってきます。顔の好き嫌いには基準があるのでしょか？

顔が美しく見えるのには理由があります。顔からその人の健康状態や環境への適応状態など、様々な事を読み取る事ができます。美は健康の証明でもある。その一つのバロメーターがシンメトリーバランスです。

ソーンヒルは顔の各部分の位置関係をコンピュータに読み込みデジタル化しました。どれだけ左右対称かを調べたのです。顔が左右対称な場合は全体も大体良好です。ソーンヒルは学生たちほどの顔が魅力的か聞いたところ、すると左右対称な顔ほど魅力的という結果が出ました。魅力的な顔というのは目鼻口などの位置関係や長さで決まる。その数字が美を決める基準になつていくのです。

シンメトリーと美の関係は鳥も同じだという。ジョン・スワドルはキンカチョウを使つてメスがオスをどう選ぶか調べています。彼はオスに足輪をつけて、シンメトリーがオスを選びにどう影響するかを調べた。足輪の色を変えることで左右対称と非対称なオスを作るのです。両足に同じ色の足輪を付けた左右対称なオス、そしてわざと色を変えた左右非対称なオスで実験しました。すると左右対称の足輪をつけたオスは、早くメスと結ばれ繁殖活動が盛んだったという。

人間もシンメトリーを好みます。人はシンメトリーを見るとごく自然に魅力を感じたり興味を持つたりする。人々は自然界のシンメトリーに魅了されます。キンカチョウも人間も美を感じるのには一つにはそれが進化の必要条件だからです。脳はシンメトリーを美しいと思う傾向があるのです。それが数式だろうが芸術だろうが同じことです。シンメトリーは昔から大切でした。

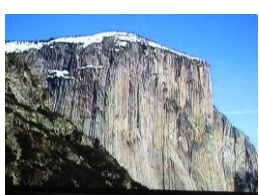


多くの民族が顔や体に左右対称の装飾を施しました。顔に描く線にはあらゆる文明に共通したパターンがあるようです。南米の先住民もアジアの民族も対称性を強調するように顔や

体に装飾を施します。

何を美と感じるかには経済や宗教や環境によつて大きく影響されます。美の基準は変わつても人間にとつて美の価値は変わりません。誰もが美しくありたいと思ひ健康と若さを保とうと努めます。美は大切ですがでも美は「善」というような考え方は正しいとはいへません。美は人間の徳とは無関係です。生きていくうえで助けとなる特性の一つに過ぎないのです。美は絶対ではありません。知性や人間性の方がはるかに勝ることが多いのです。

美とは自然の中の数学、雪、花、星、砂丘、空、海など「自然」という本は数式でかかっている「ガリレオ」。自然を見て数式を思ふ人は稀です。月を見ながら円周率の事を考えたりはしないでしょう。でも自然の美しさと数学には密接な関係があります。神は数学を使つてこの宇宙を造られたのです。この世には未知なものが沢山あります。でも大抵の事は数学を使えば説明することは可能なのです。目に見える数学それが幾何、すなわち点と面と立体の数学です。



ローウエルは自然の造形美を追求する写真家だが、自然は図形で満ちているという。私たちは自然の中に幾何学的な図形を探します。三角形、四角といった基本的なパターンを見よう

とするのです。あらゆるものを明確にして単純な形として認識しようとしませぬ。肉眼だけではありませぬ。顕微鏡の中に見える細菌なども幾何学図形にあふれています。

新日美 検索

http://www.shinnichibi.org

「新日美」で検索しますとトップに表示されます。会員掲示板 ID:snbkain パスワード:201135 です。パスワードを要求される他のページは open1978 と入力してください。 ホームページ Webmaster:土屋